

組織目標評価報告書（平成24年度）

部局名：情報統括センター

目 標	目標の達成状況(成果)及び新たに生じた課題への取組 (部局での検証とそれに対する取組)
①教育領域	自己評価
①-1 目標	/
①-2 目標とする(重要視する)客観的指標	
②研究領域	自己評価
②-1 目標	/
②-2 目標とする(重要視する)客観的指標	
③社会貢献(診療を含む)領域	自己評価
③-1 目標 ITに関する公開講座を実施するなど地域貢献を推進する。	公開講座として、「インターネット活用コース」、「Word基礎コース」及び「親子で挑戦☆パソコン入門コース」を開催し、学ぶ機会を提供する事を通じて、地域社会へ貢献した。 なお、今年度より親子で参加可能なコースを開講するなど、開催形態を工夫した結果、受講者数が約15%増加した。
③-2 目標とする(重要視する)客観的指標 受講者数:前年度比増	
④センター業務	自己評価
④-1 目標 ① 岡山大学情報セキュリティポリシーに基づき、不正アクセスや情報漏洩から学内の情報資産を保護し、更なる情報セキュリティの向上を推進する。 ② 学生の学習意欲を更に向上させるため、キャンパス内のネットワーク及び学内情報サービスの利便性・安定性を向上させるとともに、多様な利用形態に合わせた自学自習を可能とする情報環境の充実を図る。 ③ 引き続き、全学の情報を大学情報データベースに収集し、収集された情報の分析を円滑に行うための基盤を拡充する。また、各部局等と連携し、情報を活用した適切な調査・分析を継続的に行う。 ④ 外部資金の獲得額、論文の質、量等による研究者や研究組織の研究水準・成果の検証を支援するため、岡山大学情報データベースに研究情報を蓄積するとともに蓄積したデータのさらなる活用について検討する。	<p>① 情報セキュリティ啓発活動として、情報セキュリティセミナーを実施(平成24年5月、平成25年2月 受講者163名(前年度125名)及び事務系新規採用職員)するとともに、電子メールやホームページを活用して継続的に情報セキュリティに関連する情報を提供した。また、情報リテラシー教育の一環として、学生及び教職員を対象とした不審メール訓練を実施(平成24年12月)し、不審なメールに対する基本的な対応方法を徹底した。</p> <p>② 学内のネットワークをより安全性の高いネットワークへ移行するとともに、認証サーバ(Shibboleth)及び無線LANコントローラを冗長化し、単一障害点を排除する事により、可用性の向上を図るとともに、情報統括センターで一括管理が可能な無線LANアクセスポイントを95台増設、Microsoft Office講座をe-learningにより受講可能な環境を整備(平成24年4月)、卒業・退職後も利用可能なメールアドレスを付与(平成24年4月)、ハウジングサービスやホスティングサービスなどの各種クラウドサービスの拡充など学生及び教職員が利用可能な情報環境の充実を図った。併せて、各種情報サービスの利用を促進するために積極的な広報活動を行った。 また、他大学の情報リテラシー教育の実施体制等を調査するなど、本学の情報リテラシー教育の見直しについて検討を行った。</p> <p>③ 全学の情報を継続的に大学情報データベースに収集している。また、大学情報データベースで収集した情報の学内での利活用を促進するために、部局等に継続的に情報を提供するための基盤拡充及び情報提供を行った。企画・広報課と連携し、履修情報の集計・活用方法について検討を行った。</p> <p>④ 研究者や研究組織の研究水準・成果の検証を支援するために必要な情報を大学情報データベースに引き続き蓄積した。また、蓄積したデータの活用方法について検討した結果、論文等に関する分析データを試験的に作成することとした。</p> <p>その他: ・本年度より、教養教育科目の一部を情報統括センター教員が担当し、情報リテラシー教育を行った。 ・ソフトウェア資産管理規程に基づき、適正にソフトウェアの管理を行うために、ソフトウェア資産管理システムの本格運用を開始し、情報の収集を行っている。 ・平成26年更新予定の次期事務系システムの仕様について、最適なシステムの調達のため調査検討を行った。</p>
④-2 目標とする(重要視する)客観的指標 情報セキュリティセミナー受講者数 目標値:前年度比増 各種情報システム利用 目標値:前年度比増	
【総括記述欄】	
<p>全般的に今年度の組織目標を達成している。 来年度も計画的に業務を遂行し組織目標を達成できるよう、管理・運営体制を見直す。</p>	